

環境経営レポート

2018年度

< 期間：2018年4月 ~ 2019年3月 >

発行日：2019年4月26日



< 目次 >

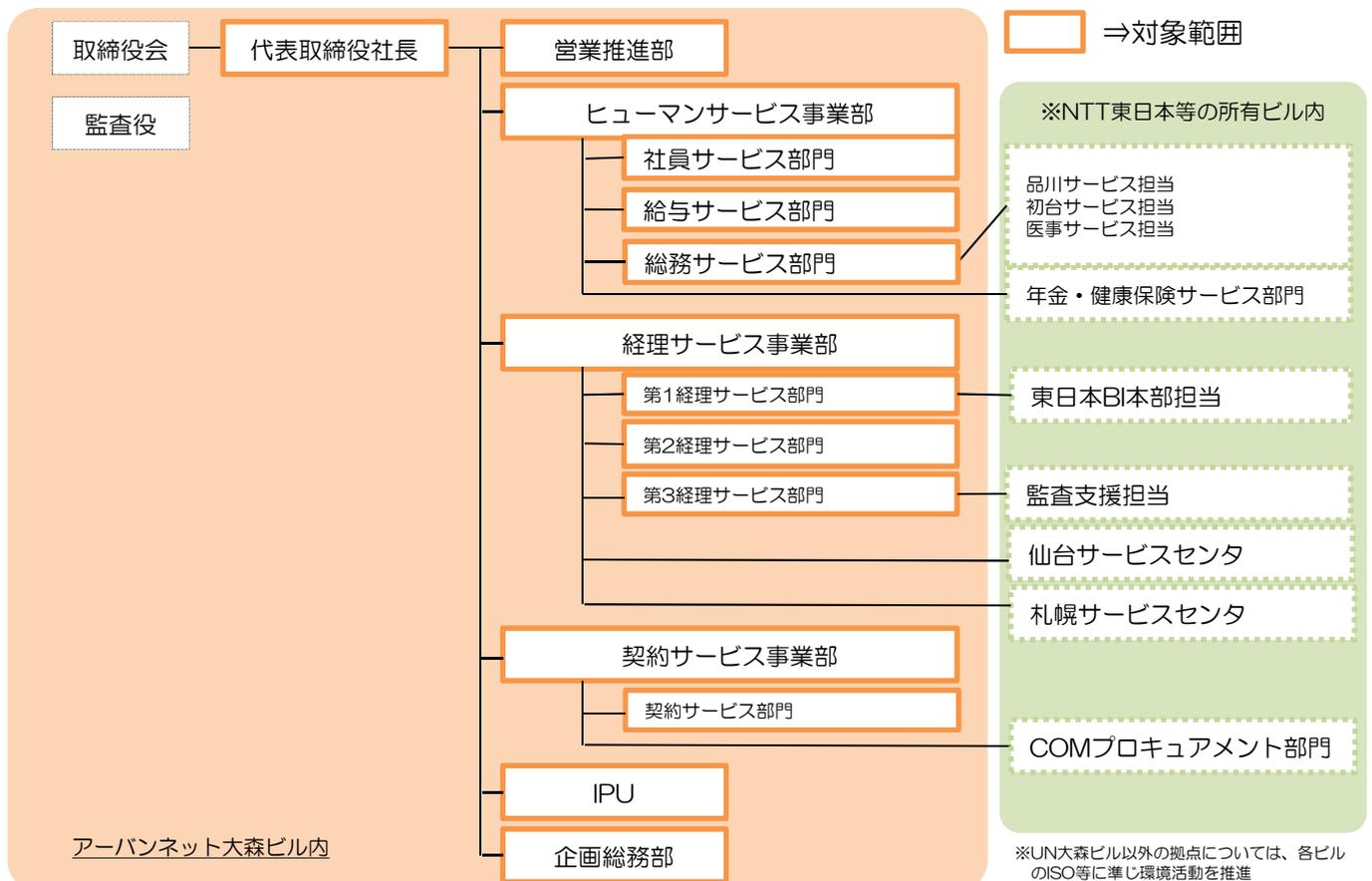


項目		ページ
1	事業概要	1
2	組織図（対象範囲）	
3	環境管理実施体制	2
4	環境方針	3
5	環境目標	4
6	環境経営計画	5
7	活動目標と実績	6
8	活動結果の評価（1）活動内容	7
	活動結果の評価（2）活動状況	8-9
9	環境経営関連法規一覧	10
10	内部監査内容の状況	
11	外部とのコミュニケーションの状況	11
12	代表者による全体評価と見直し結果	

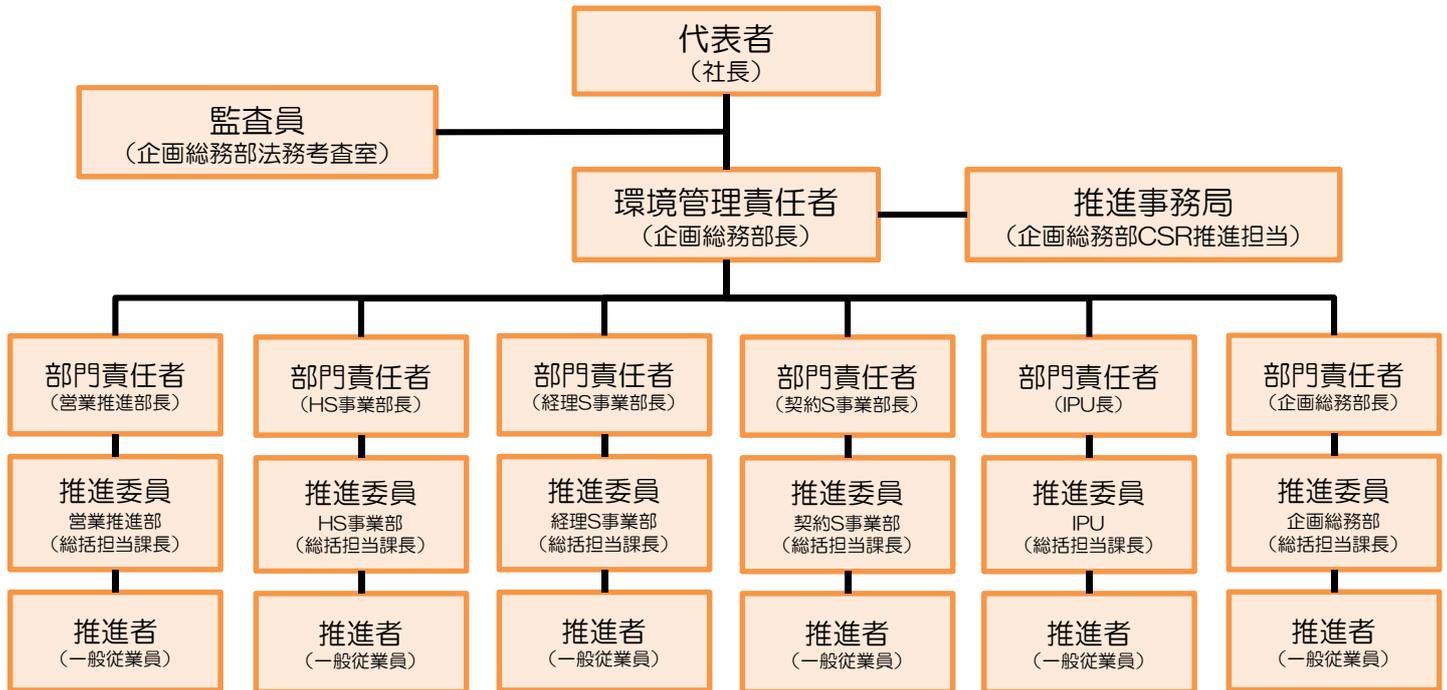
1. 事業概要

事業所名	株式会社エヌ・ティ・ティ・ビジネスアソシエ東日本
代表者	代表取締役社長 星野 睦
所在地	東京都大田区大森北2丁目1番1号 アーバンネット大森ビル
認証登録範囲	本社（東京都大田区大森北2丁目1番1号） アーバンネット大森ビル2F～10F
事業内容	経理・財務・人事・給与・福利厚生など間接業務に関するアウトソーシング及びコンサルティング業務 等
事業規模	①従業員数 1,229名 ②床面積 7,488.86㎡ ※2018年4月1日現在
環境管理責任者	取締役企画総務部長 金子 陽之
連絡先	電話：03-5767-8488 FAX：03-3768-4879 URL：http://www.nttba-east.co.jp/

2. 組織図（対象範囲）



3. 環境管理実施体制



役割	責任及び権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の制定、誓約 環境管理責任者を任命 環境経営資源（資金、人、施設・機械装置等）を確保する 取り組み状況の評価と見直し並びに指示を行う
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境目標、環境活動計画を立案 環境管理活動全般の構築・運用 環境管理活動実施状況を経営者へ報告
推進事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針、環境目標等を従業員に周知する 関連する環境目標及び活動計画の実施、活動状況の確認 関連する手順の作成及び運用管理 緊急事態の対応手順書の作成、対応策の試行、訓練、記録 問題点の抽出、是正・予防措置 関連作業に関する環境上の教育・訓練
部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> 関連する環境目標及び活動計画の実施・活動状況の確認 関連する手順の作成及び運用管理 緊急事態の対応手順書の作成、対応策の試行、訓練、記録 問題点の抽出、是正・予防措置 関連作業に関する環境上の教育・訓練
推進委員	<ul style="list-style-type: none"> 部門の環境目標及び活動計画の実施・取りまとめ、部門責任者への報告 部門内環境改善の提案等の取りまとめ
監査員	<ul style="list-style-type: none"> 環境に関する内部監査の計画 環境に関する内部監査の実施・報告
一般従業員	<ul style="list-style-type: none"> 部門の環境目標及び活動計画の実施 環境改善の提案、実施

4. 環境方針

<環境理念>

株式会社NTTビジネスアソシエ東日本は、NTTグループの一員として、「NTTグループ地球環境憲章」を踏まえ、地球環境保全に向け全社で取り組みます。共通系業務（経理・財務・購買・総務・人事・給与等）のアウトソーサーとしての事業活動をとおして、あらゆるニーズにお応えし、高水準のサービスを提供していくにあたり、従業員一人ひとりが地球環境保全を自覚して積極的に行動し、環境にやさしい社会の実現に貢献していくこととします。

<行動指針>

1. 環境経営に積極的に取り組むために、事業活動における環境目標を定め、継続的な環境負荷の低減に努めます。
 - (1) オフィス活動において電気の使用量削減に取り組みます。
 - (2) 廃棄物の発生抑制と節水意識を醸成し、3R（Reduce・Reuse・Recycle）の推進に努めます。
 - (3) 事務用品のグリーン購入を推進するとともに、OA用紙の削減に努めます。
2. 環境マネジメントシステムの維持に向け、自主的な環境保全活動の取り組みを継続改善するとともに、環境関連法規制の遵守に努めます。
3. 環境教育・啓発活動の継続的な実施により、環境保全に関する知識と意識の高揚に努めます。
4. 環境情報を開示し、社内外とのコミュニケーションを図ります。

2016年 6月 20日
株式会社エヌ・ティ・ティ・ビジネスアソシエ東日本

代表取締役社長 **星野 睦**

5. 環境目標

取組項目	単位	基準値	環境目標		
		2010年度 (H22)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31・R1)	2020年度 (R2)
二酸化炭素排出量の削減 (削減目標率)	t-CO2	332	230 (前年度実績以下)	前年度 実績以下	前年度 実績以下
電気使用量の削減 (削減目標率)	千kWh	684	473 (前年度実績以下)	前年度 実績以下	前年度 実績以下
廃棄物の一人当たりの排出量削減	kg	141.3	115.8 (前年度実績以下)	前年度 実績以下	前年度 実績以下
OA用紙の削減 (A4換算枚数) <一人当たり使用枚数> ※4/1人員数	枚/人	13,786	8,964 (前年度実績以下)	前年度 実績以下	前年度 実績以下
水使用量の削減 (削減目標率)	m ³	9,899	前年度以下にする (2017実績：7,994m ³ 以下)		
グリーン購入の取り組み	%	88	80%以上		
その他	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・事業活動の中で「カイゼン活動」「RPA化」を積極的に展開することにより環境負荷の低減に努める ・環境保全活動（ゴミ拾い等）など、地域社会とのコミュニケーションの推進を図る 		

※計算に使用したCO₂排出係数：東京電力2018年度実績 0.486 (kg-CO₂)

※化学物質の使用はないので、目標の設定はなし

※OA用紙における枚数の定義：以下のとおりA4換算とする

・A3：1500枚/箱⇒3000枚/箱（2倍）、A4：5000枚/箱

※一人当たりの枚数換算は、該当年の4/1現在の人員数とする

6. 環境経営計画

<中期活動計画>

項目	実施内容
CO ₂ 排出量の削減 (電気使用量の削減)	<ul style="list-style-type: none"> ①空調温度設定（室内温度が）夏28℃ 冬20℃ ②ブラインドの効果的な利用 ③部分的消灯（昼休み・退社時） ④LED照明の導入 ⑤不要なOA機器の電源OFF（退社時、未使用時）
廃棄物排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ①ゴミ分別の徹底 ②廃棄物管理票（マニフェスト）をもとに廃棄物の適正な処理を確認 ③ペーパーレス会議の推進 ④FAX受信データのPDF化 ⑤3Rの推進（エコ商品の購入推進、マイバックの利用促進、過剰包装の辞退等）による環境負荷や廃棄物の発生を抑制等
OA用紙購入枚数の削減 (A4換算枚数) (一人当たりの購入枚数)	<ul style="list-style-type: none"> ①両面印刷・集約印刷の推進 ②ICカード機能による誤印刷防止の徹底 ③ペーパーレス会議の推進 ④FAX受信データのPDF化 ⑤複合機の適正配置（台数・スペック）等
水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的な節水に向けた注意喚起の徹底 ・ビル管理と連携し、自動洗浄装置を設置 等
グリーン購入の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・エコ商品の購入推進 (OA用紙、文房具、筆記具を対象に購入比率向上の推進)
その他の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・事業活動の中で「カイゼン活動」を積極的に展開することにより環境負荷の低減に努める ・環境保全活動（ゴミ拾い等）など、地域社会とのコミュニケーションの推進

7. 活動目標と実績

取り組み項目	2018年度目標 (H30)	対目標	判定		年間	1Q	2Q	3Q	4Q
二酸化炭素の削減結果 (kg-CO2)	229,958	92.7%	○	計画	229,958	54,362	64,577	54,675	56,345
				実績	213,089	51,785	59,154	50,840	51,309
電気使用量の削減結果 (kWh)	473,165	92.7%	○	計画	473,165	111,856	132,874	112,499	115,936
				実績	438,454	106,554	121,716	104,610	105,574
廃棄物排出量 一人当たり (累計)	(kg) 115.8	63.3%	○	計画	115.8	35.9	59.3	86.7	115.8
				実績	73.3	18.2	34.3	49.7	73.3
OA用紙一人当たり購入枚数 の削減結果(枚/人)累計 ・A4で枚数換算 ・980人(2018.4.1現在)	8,964	82.4%	○	計画	8,964	2,645	4,604	6,666	8,964
				実績	7,386	1,905	3,579	5,388	7,386
水使用量の削減結果 (m ³)	7,994	104.1%	△	計画	7,994	1,936	1,934	2,011	2,113
				実績	8,323	2,035	2,072	2,061	2,155
グリーン購入 の取り組み結果 (%)	80%以上	92.6%	×	計画	80%	80%	80%	80%	80%
				実績	74.1%	73.1%	64.4%	76.5%	80.6%
				※全購入品数：8,508点 ⇒ エコ商品の購入数：5,539点					
その他の取り組み			○	<ul style="list-style-type: none"> WinActorシナリオ72件作成による業務の自動化・効率化 一人一カイゼンの推進(567名実施(100%)) 福祉施設によるパン・焼菓子販売協力や各種クリーン活動への参加等、地域社会との友好なコミュニケーションが図れた 					

※判定例 目標達成=○、 目標未達成=△(100%超~105%以下)、×(105%超)

8. 活動結果の評価

(1) 活動内容

項実施目	取り組み結果・評価	判定	次年度の取り組み
電気使用量の削減	※目標：473,165kWh⇒438,454kWh（実績） <対目標：92.7%> ・年間を通じた節電の取り組み、環境月次による進捗の見える化の成果により目標達成	○	・従前からの取り組み徹底（継続実施） ・会議室などの事務室以外の空調使用管理の徹底 ・各フロア環境推進者による節電管理の徹底
廃棄物排出量の削減	※目標：一人当たり排出量 115.8kg ⇒ 73.3kg（実績） <対目標：63.3%> ・ゴミ回収業者の変更により計測基準に差異あり	○	・紙削減 ・ゴミ分別徹底 ・OA用紙・筆記用具・文房具等の購入量削減
1人当たりOA用紙の削減	※目標：8,964枚/人⇒7,386枚/人（実績） <対目標：82.4%> ・両面・集約印刷の浸透、ICカードによる誤印刷防止、ペーパーレス会議の推進もあり目標達成 ・複合機カウンタ数を把握・月次管理実施による意識啓発の成果 ・RPA化の推進によるシナリオ作成の効果	○	・保存文書の電子データ化推進 ・従前からの取り組み徹底による個人意識の向上（継続実施） ・月次管理の継続
水の削減	※目標：7,994m ³ ⇒8,323m ³ （実績） <対目標：104.1%> ・従業員増による影響	△	・従業員への啓発活動の更なる推進を図る ・2018年度目標未達成のため、目標値は据え置き（2017年度実績値：7,994m ³ ）とする
グリーン購入の推進	※目標：購入比率80%以上⇒74.1%（実績） <達成率：92.6%> ・購入品の分析→改善により、下期は目標到達	×	・カウネットでの購入時に原則エコ商品の選択徹底 ・ノベルティの品目再検討
その他	■「カイゼン活動」の実施 ・全社で一人一カイゼンに取り組む（573名（100%）完了） ■クリーンオフィス・デスクの徹底（四半期に1回点検実施） ■地域社会との友好なコミュニケーションの推進 ・大田区心身障がい者福祉施設への支援 うめのき園によるパン販売（6回） しいのき園による焼菓子販売（3回） ・マッチングギフトプログラムの実施（3月） 仙台ロケ 寄附金額：12,600円 寄附先：社会福祉法人 幸生会 東京ロケ 寄付金額：278,137円 寄附先：練馬区社会福祉事業団 他3か所 ■生物多様性の保全 ・N東－東北主催「みやぎの森草刈り」（6月：5名） ・N東－北海道主催「はまなすの丘景観保全活動」（10月：8名） ・BA社主催「荒川河川敷ゴミ拾い活動」への参加（11月：22名） ・大森ビル周辺清掃活動（毎月20日：全10回、延べ200名）	○	・従前の取り組みの推進（継続実施） ・働き方推進（フレックス・在宅勤務）全社展開 ・ウォーキングコンテストの実施

※判定例 目標達成=○、目標未達成=△（100%超～105%以下）、×（105%超）

※ただし、グリーン購入は達成率

(2-1) 活動状況

電気使用量の削減



<昼休み完全消灯>



<不要な照明のOFF、事務室照明のLED化>



<照明スイッチの明確化>



<空調機設定温度の遵守>



<扇風機の有効活用による空気循環>



<省電力自販機の導入>



<注意喚起ステッカーの貼付>

OA用紙の削減・廃棄物排出量の削減

<ペーパーレス会議の推進>



<環境月次報告>



<ゴミ分別の推進>



(2-2) 活動状況

水使用量の削減・その他の取り組み



<注意喚起ステッカーの貼付>

<洗面所の節水の推進 (自動水栓・擬音装置) >



<自動洗浄装置の設置>



<来訪者への節電に対する理解促進>



<クリーンオフィス・デスクの推進>

9. 環境経営関連法規一覧

1. 当社に該当する主な環境関連法規

	法令名称	監視・想定項目	主要内容	評価
1	廃棄物処理法	<ul style="list-style-type: none"> 一般廃棄物 産業廃棄物 	<ul style="list-style-type: none"> 運搬又は処分は定められた業者に委託しているか？ 分別は徹底されているか？ 産業廃棄物管理票交付状況報告書は提出されているか？ 	○
2	リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> パソコン・プリンター コピー機・FAX 等 	<ul style="list-style-type: none"> 使用済み物品等は再生資源・再生部品として利用しているか？ 	○
3	家電リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> テレビ ・エアコン 冷蔵庫 等 	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物として排出する場合、運搬する業者等に適切に引き渡し、且つ料金支払いを行っているか？ 	○
4	小型家電リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> 小型家電 (携帯電話、デジタルカメラ、時計、電子レンジ、扇風機等) 	<ul style="list-style-type: none"> 小型家電を廃棄する場合はリサイクルに努めているか？ 	該当なし
5	グリーン購入法	<ul style="list-style-type: none"> OA用紙 事務用品 	<ul style="list-style-type: none"> 購入するOA用紙、事務用品等はグリーン商品を購入しているか？ 	○

2. 違反・訴訟の有無

自ら実施した環境関連法規制の遵守状況の評価の結果、法規制の逸脱はありませんでした。関係当局から、違反の指摘は過去3年間ありませんでした。また、訴訟もありませんでした。

10. 内部監査内容の状況

- 各組織における環境への取組状況・従業員の意識等を監査したが、独自の取組も見られ、高い意識を持って取り組んでいることを確認。
- 環境目標の達成度合いの有効性を確認し、重大な不適合箇所はなし。
- 目標達成できなかった項目については、しっかりと分析し、有効な取り組みを展開すること。また、各組織において環境への取組が形骸化されないよう実効的な対策の検討を期待する。

11. 外部とのコミュニケーションの状況

・地域社会との有効なコミュニケーションが保たれています。

(主な活動内容)



12. 代表者による全体評価と見直し結果

達成状況	「紙・ゴミ・電気」削減については、従業員の意識の高まりが見られ、毎年度目標クリア出来ていることは評価に値する。「グリーン購入」「水道使用量」で目標達成には至らなかったため、原因を分析し、改善を図りたい
運用結果	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度に引き続き、「カイゼン活動」「RPA化」を推進し、業務効率化を図ってきた結果、「紙」「電気使用量」の削減につながったと考えている。 ・社会貢献・環境活動にも積極的に参加できている。
次年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・環境活動については、これまでの取組みを継続・徹底し環境目標達成する。 ・事業としては、「DXの推進」「働き方改革」「健康経営」を推進し、更なる業務効率化・生産性向上につなげる